

緩和ケアについて

「辛さを和らげる = 緩和ケア」

病気による心や身体の辛さを和らげ、その人らしい生活が送れるように支えるケアを「緩和ケア」と言います。

辛さとは、痛み・痺れ・吐き気・息苦しさなど身体の辛さだけではなく、経済的な辛さや、気持ちの辛さなど様々なものがあります。それらの辛さにより、夜眠れない・食欲がない・トイレにも行けない・治療時の姿勢が維持できないなど、生活や治療に影響を及ぼすことがあります。そのため、緩和ケアは病気が進行してからではなく、診断された時から始まります。

緩和ケアは、患者さんだけではなく家族も対象です。医師や看護師へ、あなたの辛さをお伝えください。がん相談支援センターでもご相談にのることができます。

こんなことでお困りではないですか？

- 痛みでやりたいことができない・やる気が出ない
- 夜も眠れない
- 辛い気持ちはどうすればいいの？
- 病気とどのように向き合えばいいの？
- 家族はどうしたらいいの？

私たちが相談にのります！

緩和ケア科／緩和ケアチーム

様々な専門職からなる緩和ケアチームがあなたのつらさを支えます。

説明資料はこちら

がん情報サービスの冊子
※がん相談支援センターで冊子を受け取れます。

